

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成27年8月27日(2015.8.27)

【公表番号】特表2014-520924(P2014-520924A)

【公表日】平成26年8月25日(2014.8.25)

【年通号数】公開・登録公報2014-045

【出願番号】特願2014-519686(P2014-519686)

【国際特許分類】

C 08 L 101/00 (2006.01)

C 08 G 63/183 (2006.01)

C 08 K 3/22 (2006.01)

H 01 L 33/50 (2010.01)

【F I】

C 08 L 101/00

C 08 G 63/183

C 08 K 3/22

H 01 L 33/00 4 1 0

【手続補正書】

【提出日】平成27年7月8日(2015.7.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

統合発光体粒子を有するポリマー製品を製造する方法であって、前記ポリマー製品は、少なくとも1種の液相モノマー及び少なくとも1種の発光体の粒子の粉末から製造され、ポリエチレンテレフタレート又はポリエチレンテレフタレートのコポリマーを含み、重合前に前記モノマーに前記発光体を添加する工程を含むポリマー製品を製造する方法。

【請求項2】

前記少なくとも1種の液相モノマーは、テレフタル酸、エチレングリコールからなる群に含まれるモノマーの1種又は組み合わせである請求項1に記載のポリマー製品を製造する方法。

【請求項3】

前記発光体は、放射の吸収後に燐光を発する燐光物質である請求項1又は2に記載のポリマー製品を製造する方法。

【請求項4】

前記発光体は、放射の吸収後に蛍光を発する蛍光物質である請求項1乃至3のいずれか一項に記載のポリマー製品を製造する方法。

【請求項5】

前記粉末中の前記発光体の粒子は、10nm～1mmの範囲のメジアン径を有する請求項1乃至4のいずれか一項に記載のポリマー製品を製造する方法。

【請求項6】

前記粉末中の前記発光体の粒子は、1μm～20μmの範囲のメジアン径を有する請求項1乃至5のいずれか一項に記載のポリマー製品を製造する方法。

【請求項7】

前記発光体の粒子は、

YAG : Ce、LuAG : Ce、Lumogen F Red 305、Lumogen F Yellow 083、又はこれらの組み合わせからなる群に含まれる1種又は数種の材料である請求項1乃至6のいずれか一項に記載のポリマー製品を製造する方法。

【請求項8】

統合発光体粒子を有するポリマー製品から作られたペレットであって、前記統合発光体粒子は、保護ポリマー層を有し、前記ポリマー製品は、ポリエチレンテレフタレート又はポリエチレンテレフタレートのコポリマーを含むペレット。

【請求項9】

請求項1乃至7のいずれか一項に記載のポリマー製品を製造する方法により製造されたポリマー製品から作られた光変換用プラスチック部品。

【請求項10】

統合発光体粒子を有するポリマー製品から作られた光変換用プラスチック部品であって、前記統合発光体粒子は、保護ポリマー層を有し、前記ポリマー製品は、ポリエチレンテレフタレート又はポリエチレンテレフタレートのコポリマーを含む光変換用プラスチック部品。

【請求項11】

請求項9又は10のプラスチック部品を含む発光装置。

【請求項12】

光源がLEDである請求項11に記載の発光装置。

【請求項13】

請求項1乃至7のいずれか一項に記載のポリマー製品を製造する方法により製造されたポリマー製品の照明装置における使用。